

幼馴染コンプレックスの漫画の感想レビューに関するアンケート調査結果

■アンケート調査概要

調査目的	幼馴染コンプレックスの漫画の感想レビューに関するアンケート調査
調査対象	幼馴染コンプレックスを読んだことのある10代～50代の男女49名
調査期間	2025年4月19日～2025年4月20日 2025年12月17日 2026年1月28日 2026年2月22日 2026年4月27日 2026年7月11日 2026年9月15日
調査方法	インターネット調査
モニター提供元	クラウドワークス・ランサーズ
データ使用サイト	https://glucks-web.co.jp/manga-zenkan/osa-nanazimikonpurekkusu/

■アンケート項目

Q1: 年代と性別を教えてください。

Q2: 幼馴染コンプレックスを実際に読んだ感想を教えてください。

Q1: 年代と性別を教えてください。

20代男性	0人
20代女性	2人
30代男性	0人
30代女性	0人
40代男性	23人
40代女性	6人
50代男性	18人
50代女性	0人

Q2: 幼馴染コンプレックスの感想を教えてください。

幼馴染コンプレックス: 1話～5話まで	ハナルは初めて大人のビデオを友人と見て、全く理解出来ずに口をあんぐりと開けて固まってしまうところが可愛かったです。可愛いのに男に対しての免疫が全くない所が意外だったし、イケメンの幼馴染のミンギがいるのに、全く意識していないのが不思議でした。男の子にご飯を誘われて行こうとしていた所に、タイミングよくミンギが現れた時は驚いたけど、男の子に圧力をかけて約束を無かったことにした時は面白かったです。
幼馴染コンプレックス: 1話～5話まで	この作品の主人公であるハナルの性格の部分がとても興味深く映りましたね。まず男性に対しての免疫が全くないということが本当に可愛いですね。ちょっと天然チックなところもあって見ていて守ってあげたくなること間違いなしの存在です。そして、やっぱりそんな彼女にはめちゃくちゃ格好いい幼馴染ミンギがいるという設定もたまりません。二人の関係がどのように変化するか見ものです。
幼馴染コンプレックス: 1話～5話まで	ハナルに近づく男性に対して威嚇したりしていたので、ミンギのほうはハナルのことが女性として好きなのかと思ったのですが、本人的にはそうではないようで、無自覚なのに嫉妬深いのが面白かったです。逆に子どもっぽいいハナルのほうがミンギを異性として意識し始めていて、いつどんなシチュエーションで自分の想いに気がつくのかなとワクワクしました。
幼馴染コンプレックス: 6話～10話まで	お酒を飲みすぎてぼやけているハナルが、仕事中のミンギに見とれて、ついカッコイイと思ってしまう所が良かったです。それをお酒のせいだと思い込んで気絶しようとするハナルが面白かったし、テーブルに頭をぶつけるギリギリな所でミンギが助けるシーンはキュンキュンしました。さりげなく飲み物を渡すミンギが優しくてカッコよかったです。
幼馴染コンプレックス: 6話～10話まで	大学ですごく注目されている男子の一人ジェヒという存在がいるのですが、彼の自由奔放さがとてもいいですね。結構女性に対して、だらしない感じでいつも女性とディープに絡んでいるのですが、そのチャラさが彼の大きな魅力になっていると思います。独特の色気を孕んでいる感じでめちゃくちゃ気になってくるので彼の言動から俄然目が離せません。
幼馴染コンプレックス: 6話～10話まで	ジェヒ先輩はどうやら遊び人っぽいですけど、ハナルのことは純粋に後輩として可愛がっているような印象を受けました。ハナルがジェヒ先輩を意識するようになるのか、それともジェヒ先輩がハナルを女性として気に入ってしまうのか今の時点では読めませんが、この先キーパーソンになるのは確実だと思われるので、注目していきたいです。
幼馴染コンプレックス: 11話～15話まで	ある時、お酒に酔った流れでハナルとミンギの関係がディープに絡み合っていくのでその展開にすごくドキドキしましたね。幼馴染で今まで家族のような扱いだったハナルにミンギが迫っていくのでとても胸がキュンとしました。お互いが意識している時の独特の空気感がとにかく面白くて、「これからどうなるのか」という期待感がすごく持てましたね。
幼馴染コンプレックス: 11話～15話まで	今まで単なる幼馴染として接してきましたが、ミンギのある行為がきっかけとなりお互いが異性として意識するようになっていく展開がとにかく面白いですね。ハナルのちょっと恥ずかしそうな顔がたまらなく可愛らしいので、そこにも注目してほしいですね。恋愛に発展するのかどうかという甘酸っぱい感じを作画から感じ取れるので必見です。
幼馴染コンプレックス: 11話～15話まで	酔った勢いで一線を越えてしまうのかと思いきやそんなことはなく、しかもそれ以来すっかりミンギを意識するようになったハナルに対してミンギが忘れようと提案した時は驚きました。その後関係を持つことになりましたが、気持ちが通じ合った上での行為ではなかったために、むしろモヤモヤ感が増してもどかしかったです。ハナルもミンギもはやく素直になって恋心を自覚してほしいと思いました。
幼馴染コンプレックス: 16話～20話まで	ハナルとミンギの関係がギクシャクする展開がとにかく面白いです。ジェヒの存在がミンギの心をかき乱す感じで目が離せません。でもミンギがそうになってしまうのにはやっぱりハナルのことがどこか好きだからという理由が含まれているからだと思うのでその点に注目ですね。ミンギがハナルに強い口調で反発しているのがとても可愛くてたまりませんでした。

幼馴染コンプレックス:16話～20話まで	実家にハナルが帰省する話が描かれていたのですが、そこでのハナルとミンギのやりとりがめっちゃくちや微笑ましいですね。ちょっと仲違いしていた二人ですが次第に元の関係性に戻っていくのでそのプロセスを見ていくのがすごく楽しいです。やっぱり幼馴染というのが根底にあるので仲直りの仕方はちゃんと心得ているのがいいですね。
幼馴染コンプレックス:16話～20話まで	地元の友達にハナルとのことを聞かれた時は意地をはって拗れてしまうのではないかと心配しましたが、意外にも素直に今の関係を壊したくないと本音を吐露していてビックリしました。それだけミンギにとってハナルの存在は大きいのですが、その前のアイスがついてイチャイチャするくだりが可愛くて微笑ましかった分、なんだか切なくなっていました。
幼馴染コンプレックス:21話～25話まで	ミンギとジェヒがハナルのことを取り合っている感じがすごくワクワク感を増幅させてくれますね。ハナル本人はまだそのことに気がついていない感じなので、そこがまたとても面白いです。イケメン二人に好意を寄せられるなんてハナルの境遇がとても羨ましくなりました。これからどのような関係性に発展するのかとても楽しみにってきます。
幼馴染コンプレックス:21話～25話まで	ハナルと試しに付き合ったことがあるスンヒョンという人物のことがとても気になってしまいましたね。彼の内面はまさにクズそのものという感じなので、その実態を知ってしまったミンギが彼のことをよく思わない展開には胸が熱くなりましたね。やっぱり幼馴染が傷つけられるのは我慢できないという気持ちがミンギの姿に強く現れていましたね。
幼馴染コンプレックス:21話～25話まで	ハナルのことがきっかけとなりミンギがスンヒョンに殴りかかってしまう場面はいいですね。なんだか仲間を守ろうとするミンギの優しさを垣間見たような気持ちでした。警察沙汰にまで発展してしまうのですが、それでまたハナルとミンギの関係が深く進展していくので目が離せません。やっぱりトラブルが起きると人の関係は縮まりますね。
幼馴染コンプレックス:26話～30話まで	作中、ジェヒの彼女らしき人物が登場してハナルが嫉妬の対象になってしまう流れがとても面白いですね。ハナルには全くそのつもりはなくてもトラブルに巻き込まれてしまうので俄然目が離せません。この場面を見てジェヒがとにかく女性からモテるということを強く実感させられましたね。彼の格好良さを見れば尚更そのことを強く思います。
幼馴染コンプレックス:26話～30話まで	ハナルが作中初めてバイトをすることになるのですが、そこでの展開が本当に面白いですね。ハナルのことを幼馴染として心配しているミンギの姿などもあり、二人の関係がまた進展してしまうのではないかと期待感が持てます。ミンギが執拗にハナルのことを心配してしまうのは、やっぱり彼女のことをどこか内心いいなと思っているからだとわかるのでその点にも注目です。
幼馴染コンプレックス:26話～30話まで	ハナルのことを特別視していると思われるジェヒ先輩と、ジェヒ先輩への想いに苦しんでいるユナ先輩、そしてユナ先輩に片思いするヨハン・・・と新たな恋模様が繰り広げられて、この先どうしていくのか期待がふくらみました。ミンギとハナルは紆余曲折ありながらもくっつきそうですが、ジェヒ先輩とユナ先輩の関係の行方がかなり気になります。
幼馴染コンプレックス:31話～35話まで	ジェヒの姪っ子としてヘイウォンという女の子が登場するのですが彼女とハナルが仲良くなる展開がとても面白いですね。子供好きなハナルらしい言動が色々と作中で見れるのでなんだか癒されましたね。やっぱりハナルの天真爛漫な雰囲気は最高です。すごく好感が持てるので必見です。一方でヘイウォンのあどけなさもハナルに負けず劣らずなので目が離せません。
幼馴染コンプレックス:31話～35話まで	ある時、大学の課題で同じ班にさせられてしまったハナルとジェヒの関係の部分に注目してほしいですね。やはりどこかハナルはイケメンに弱い感じでジェヒのことを意識的に遠ざけようとしている姿が可愛らしいですね。そんなことお構いなしにジェヒがハナルに接近していくのが、すごく面白くて俄然二人のやりとりから目が離せません。
幼馴染コンプレックス:31話～35話まで	みんなで大学の課題に取り組んでいく姿がまさに青春そのものという感じでたまりませんね。こういう班ごとに同じ方向を向いて色々な調べ物をしている感じが最高にいいんですよ。ハナルとジェヒが一生懸命になっている姿を見るとこちらまで、なんとなく嬉しくなってきますね。課題がきっかけでどんどんハナルの内面も変わっているように見えるので必見です。

幼馴染コンプレックス:36話～40話まで	やはりハナルの性格はとても魅力的だと感じます。友人が恋人に振られてしまったと知ると彼女を励ますためにわざわざ食事につき合っあげたりするので、その心配りの部分にすごくときめきますね。こういう友達がいたら絶対に心強いと思うのでハナルの存在がこの作品では欠かせません。いるだけで空気を和やかにしてくれます。
幼馴染コンプレックス:36話～40話まで	ミンギがハナルのことを意識するあまり夢に彼女が出てきたとわかる展開がとても面白いですね。やっぱりミンギはハナルに恋していることは明白だと思います。幼馴染という括りにはしていますが確実に異性として見ているので、その点に注目するとより物語全体が面白くなってきますね。ミンギの内面がとても気になってくるので俄然目が離せません。
幼馴染コンプレックス:36話～40話まで	酔っばらっていたとはいえミンギがハナルのことを好きだと言って、ハナルもミンギに好きだと言うことができたシーンは感無量でした。しかしこれでようやく結ばれるかと思いきや、ジェヒ先輩がとうとうハナルに本気になったようなセリフがありましたし、なによりハナルの傷などソヒが口にしたセリフからなんだか不穏なものが感じられて、また一歩乱ありそうだと感じました。
幼馴染コンプレックス:41話	ハナルがミンギに告白する場面は必見ですね。今まで幼馴染という関係を保ってきましたがやっぱり好きだと気づいて告白してしまうのですが、ミンギがハナルを突っぱねる展開は見事でしたね。勘違いということにして幼馴染の関係を保とうとするミンギの内面が手に取るようにわかりました。でもなんとなく彼の気持ちも理解できるので、すごく考えさせられますね。
幼馴染コンプレックス:41話	ハナルに告白されたことでミンギがよりハナルのことを意識してしまう姿に注目ですね。やっぱり自分はハナルのことが好きなのかどうかわからなくなっている感じが彼の表情から伝わってきたので俄然目が離せませんでした。キャラの心理描写がとても丁寧ですごく没入できますね。ミンギがどのような決断をするのか気になります。
幼馴染コンプレックス:41話	とてもキュンキュンとさせられる回でした。蓮くんの不器用な優しさと、美緒ちゃんの素直な想いがやっとなんか重くなってきていて、読んでいて思わずニヤニヤしてしまいました。幼馴染ならではの近すぎる距離感や、なかなか素直になれないもどかしさが丁寧に描かれていて共感しやすかったです。少しずつ関係が進んでいる感じが伝わってきて、次回の展開がますます楽しみにになりました！
幼馴染コンプレックス:42話	ミンギがいかにかハナルにとって大事だったか。そのことが良くわかる話だったように思います。もしミンギが傍にいたらこんなヘマはしていなかったでしょう。ハナル自身もそれを痛感しただけに、この喪失感は相当尾を引きそうですね。一方、ユナ先輩宅での出来事は笑えました。見られてはいけないものを発見してしまった時のユナ先輩の慌てっぷりがとても良かったです。
幼馴染コンプレックス:43話	ハナルとミンギの相性は最高だったんだなと改めて感じさせられました。誰も苦手な分野ってあると思いますが、それを補ってくれるわけですから。ユナ先輩の言葉でハナルが自覚出来たのは良かったと思います。一方、ミンギの方も面白いことになっているように感じました。ハナルとの不仲が原因で気を落としているということは、そういうことなのでしょう。多少冷却期間は必要かもしれませんが、以前のような関係になって欲しいですね。
幼馴染コンプレックス:44話～45話	ホジュンが想像以上にしっかりっていて驚きました。兄としての自覚を強くもっており、弟たちのことを普段から注意深く見てきたのでしょう。でなければ、ミンギの悩み事をここまで言い当てられるわけがありません。ミンギにとっても、ホジュンのアドバイスはかなり参考になったのではないのでしょうか。ハナルにどのように向き合っていくのか注目したいです。
幼馴染コンプレックス:46話～47話	口に出さないだけで、ミンギの熱愛っぷりは凄いですね。ハナルが白色がいいといえば、サクッと白色に染めていました。髪の色を染めるなんて気軽にできるものではないですし、それだけハナルの気を引きつけたかったんでしょうね。ユナ先輩とヨハンの関係が興味深いです。脈無しかと思えた二人の関係でしたが、かなり前進したのではないのでしょうか。この先どうなるのか、注目したいです。

幼馴染コンプレックス:48話～49話	ヨハンのアプローチがすごく効いてました。キスには至らずとも、ユナ先輩の気持ちは確認出来たように思います。早くカップルになって欲しいですね。ハヌルにとって、今回の誕生日は悪い意味で特別なものになってしまったように思いました。去年までミンギと誕生日を祝いあっていただけに、そのショックは強烈です。早く仲直りして、来年は幸せな誕生日を迎えて欲しいですね。
『幼馴染コンプレックス』51話～52話	過去のミンギを褒めてあげたいです。ジュノやホジュンのように、ある程度の年齢差があれば、ハヌルの我儘も愛らしく感じられたでしょう。しかし、ミンギとハヌルは同世代です。よくここまでハヌルの癪癪に寄り添えたものだと感心しました。ジェヒ先輩は意外でした。まさかここまでハヌルのことを意識していたとは。しかし、忘れようと思って忘れられるなら、苦労はしません。しばらくはハヌルを忘れられないでしょう。それがジェヒ先輩にどのような影響を与えることになるのか、注目したいです。
『幼馴染コンプレックス』53話	ハヌルとジェヒ先輩の関係が今後どうなるのか気になります。以前のハヌルならジェヒ先輩は恋愛対象にはならなかったでしょう。しかし、今のハヌルはフリーというだけでなく、ソヒから他の男性に目を向けるように言われています。ハヌルを口説こうとするなら、今がチャンスなんですよ。一方、ジェヒ先輩にも変化が訪れました。ハヌルを諦めようとしていましたけど、ジュノのアドバイスによって考えが変わったように思います。もしこのアドバイスにジェヒ先輩が従ったとしたら、ハヌルにアプローチを掛けるわけで。この二人が今後どのような関係になるのか注目したいです。
『幼馴染コンプレックス』54話	何がプラスに働くのかは、本当に分からないものです。ソヒの言葉によって、ハヌルは別の男性に目を向けるのではないかと思っていました。しかし実際にはそうならず、それだけハヌルのミンギへの想いが強かったということなのでしょう。一方で、ミンギが気になりました。ミンギ自身も、今の関係のままで良いとは思っていないでしょう。ハヌルの方から距離を詰めようとしてくれているわけですが、その気持ちに応えることが出来るのかどうか注目したいです。
『幼馴染コンプレックス』55話	ハヌルのパワーには驚かされます。ここまで拗れてしまったら、関係修復は難しいかなと思っていました。しかし、それをひっくり返してしまったように思います。ここまで想いをぶつけられたら、ミンギも素直にならざるを得ないでしょう。ハヌルの想いにミンギはきちんと応えることができるのか、見守りたいです。一方で、ジェヒ先輩の存在も気になりました。ミンギとの関係が不安定だった頃であれば、ジェヒ先輩にもまだ可能性はあったのかもしれませんが。しかしミンギとの関係が復活してしまったら、厳しいでしょう。ハヌルへの片想いに気づいてしまっただけに、そのショックの大きさを思うと心配になります。
『幼馴染コンプレックス』56話	ハヌルのポジティブさには驚かされました。チューなど可愛い言葉を使ってはいますが、ここまできっぱり断られてしまえば、普通はかなり落ち込んでしまうものだと思います。それでもハヌルは、そうした様子をまったく見せません。断られてもお積極的に想いを伝え続ける姿勢には、素直にすごいと感じました。一方、ミンギが気になります。ここまで気持ちをぶつけられているにもかかわらず、まだどこかにわだかまりを抱えているように見えました。そうした迷いも含めてすべて乗り越え、ハヌルの想いにしっかり応えてほしいなって感じました。
『幼馴染コンプレックス』57話	ミンギは少し考えすぎているように感じました。確かに、まだ正式に付き合っていない状態で関係を持ってしまったことを悔やむ気持ちはわからないでもありません。しかし一方で、ハヌルはそれを受け入れたうえで、むしろ積極的に気持ちを伝えてきています。そうであるならば、素直にその想いに応えたうえで、ミンギ自身の言葉でしっかりと告白すればいいのではないのでしょうか。自分の気持ちに正直になって欲しいです。
『幼馴染コンプレックス』58話	ミンギが好きだと伝えたことで、ようやく二人はきちんと結ばれるのだと思いました。それだけに、ハヌルの反応を意外に感じます。二人の関係は一筋縄ではいかないのだと感じさせられました。一方で、最後の展開は非常に気になるところです。ついさっき二人の関係が拗れると予感したところだったのに、あれは一体なんだったのでしょうか。あの違和感を抱えたままの展開から、なぜここまで一気に状況が動いたのか、その経緯に注目したいです。

『幼馴染コンプレックス』59話～60話	ミンギの洞察力は本当に見事でした。高速道路という状況を考えると、気づくタイミングの重要性はかなり大きいと思います。簡単に停められる環境ではない中で、ハヌルの変化を見落としました。単なる観察力以上に、相手を気にかけているかどうか表れているように感じます。よくこのタイミングで気づいたものだと感じました。一方で、その後の展開が気になりました。ハヌルはミンギを求めています、身体の準備は出来ていません。これでは痛いだけでしょう。ジェルがどれほどの効果をもたらすのか、注目したいです。
『幼馴染コンプレックス』61話～62話	ジェルの効果が凄かったです。ハヌルは強い痛みを感じていた様子でしたし、今回はうまくいかないのではないかと感じていました。それだけに、あそこまで状況が変わるとは予想外。結果としては、身体の相性も良いのではと感じるほどでしたし、上手く行って良かったです。そして何より、その後のハヌルの行動は見事でした。もし彼女がミンギに告白を断った理由を尋ねていなければ、関係は曖昧なまま終わっていた可能性もあります。自分から踏み込んで向き合おうとしたハヌルの姿勢は、本当に印象的でした。
『幼馴染コンプレックス』63話～65話	ミンギに同情してしまいました。ミンギは上手く言語化ができなかったために、ハヌルを怒らせてしまいました。もちろん、ハヌルが怒るのも無理はありません。しかし、もしあの時ハヌルがもう少し冷静に話を聞いていたなら、二人があそこまでこじれてしまうことはなかったようにも思えます。もっとも、別れてから三か月もの間、何の行動も起こせなかった点についてはミンギに非がないとはいえません。ミンギの不器用さが招いた結果とはいえ、このまま完全に終わりになってしまうのは少し可哀想だと思いました。一方で気になるのは、ジェヒ先輩の行動をハヌルがどう受け止めるのかという点です。ハヌルの代わりにジェヒ先輩がお酒を注いだということは、俺のハヌルに手を出すなという意思表示をしたも同然といえるでしょう。さすがにハヌルも、その行動に込められた意味に気づくのではないのでしょうか。そして、もし気づいたとしたら、彼女の心にはどのような感情が芽生えるのかが気になりました。
『幼馴染コンプレックス』66話	ミンギの空回りぶりには、もどかしさを感じてしまいました。ちゃんと気持ちを伝えれば、ハヌルは振り向いてくれると思います。しかしそれが出来ません。恐らく過去のトラウマがそうさせているんでしょうけど、そのことも含めてハヌルにちゃんと伝えて欲しいと感じました。一方で、気になるのはジェヒ先輩の動向です。ジェヒ先輩はハヌルの本心を知ってしまいました。普通に考えれば、二人の間に入る余地はないと判断して身を引いてもおかしくありません。ジェヒ先輩がどういった決断を下すのか、注目したいです。
『幼馴染コンプレックス』67話～70話	ジェヒ先輩の行動に驚きました。感情に流されることも少なく、恋愛面でも冷静な印象が強かっただけに、今回の動揺ぶりはかなり意外でした。それだけハヌルへの気持ちが大きくなっていたのでしょう。一方で、何でも言うことを聞いてくれる券の使い道が気になります。その後の展開を見る限り、強引なお願いや無茶な要求をしたようには見えません。もし告白の返事を求めたり、デートを強要したりしていたなら、ハヌルの反応や周囲の状況ももっと大きく変わっていたはずです。一体どんなお願いをしたのか、知りくなりました。
『幼馴染コンプレックス』71話～73話	ミンギのファインプレーでした。もしミンギがあ場でジュノに疑問をぶつけていなければ、ミンギの過去に何があったのかは明かされないままだったかもしれません。しかし、ミンギの何気ない一言によって、ジュノは忘れかけていた過去を思い出してくれました。物語の核心へとつながる回想シーンが始まったのは、まさにミンギの鋭い着眼点があったからこそでしょう。我々が知りたかった真相へとつなげてくれたという意味でも、見事な働きだったと感じました。一方で、回想シーンの続きも非常に気になります。まだすべてが明かされたわけではありませんが、ここまでの描写を見る限り、何が起きたのかは何となく想像できるようになってきました。この負傷がミンギにどのような影響を与えることになったのか注目したいです。
『幼馴染コンプレックス』74話～75話	ミンギの回想シーンを見て、これまで抱いていた疑問がようやく納得できました。これまで、ミンギの対応が不思議だったんですね。ハヌルを好きであるにもかかわらず、なぜ受け入れようとしなかったのかと。しかし、このような事情があったなら躊躇してしまうのも仕方ない。そう感じました。

『幼馴染コンプレックス』76話～78話	ちょっと、ジェヒ先輩が可哀想でした。少し前の、まだハヌルに好意を抱く前のジェヒ先輩であつたら良かったんですけどね。目の前に大好きな女性がいるものの、その目には他の男性しか映っていない。そのことを理解してしまい、寂しそうな目をしたジェヒ先輩が印象的でした。
『幼馴染コンプレックス』79話～80話	ジェヒ先輩は素敵でしたね。好きな人には幸せになって欲しい。ウオンテッドというイベントからは、そんな想いが伝わってきました。
『幼馴染コンプレックス』81話～82話	映画館でのハヌルが微笑ましくて良かったです。恋人になった辺りだと、ハヌルは受け身になっていました。でも、映画館ではハヌルらしさが出ていたとでもいいましょうか。やっぱりハヌルは自分からグイグイ行く姿が似合っていますね。

漫画全巻の部屋
by (株)グリュックス